

第14回まちづくり市民会議議事録

- 日時 平成22年5月20日（木） 午後6時30分～8時45分
■場所 太田市役所10階 政策推進会議室
■出席者 西村会長、福田副会長、秋山委員、青木委員、窪田委員、新藤委員、
棚澤委員、塚田委員、徳永委員
田中企画政策課長補佐、小川主任

(委員9名、市2名)

【概要】

1. 歴史（産業遺産・文化遺産）について

- ・歴史チームのチーフが欠席のため、チーフ作成の資料については、次回の会議で改めて説明をしてもらうこととし、今回は次回以降検討予定であった「環境」についてのレポートを各委員が発表することとする。
- ・歴史チーフ作成資料に対して委員から、歴史遺産として丸山宿を入れたほうがよい、改善案1の「私立」は「市立」ではないかといった意見があった。
- ・「行政審査委員会」と「まちづくり市民会議」との関係について事務局より説明。
 - ①行政審査とは、市で行われている監査を補完するものであり、市民の目線で見ると任意の監査である。
 - ②従来の監査との重複を避けるため、財務監査は扱わない。
 - ③審査委員は専門的知識を持つものとされ、会社経営者や弁護士、税理士等6名からなる。
 - ④審査案件については、広報で募集、審査委員が検討し決定となる。22年度の案件は「観光行政について」、21年度は「環境について」。
 - ⑤市民会議とテーマが同じであるが、お互い干渉しないこととされている。
 - ⑥市民会議はこれからのことに対する提言であるのに対して、行政審査はこれまでやってきたことに対する監査の意味合いが強い。
- ・5月27日（木）に群馬県東部県民局主催の「ググッとぐんま観光宣伝推進東部地区部会」が開催される。参加者は部会加盟団体・企業に限られ、市民会議としては参加できないため、事務局が市の担当である商業観光課に依頼し、部会開催状況等について情報収集し、後日市民会議に説明する。
- ・各委員が、「環境」について作成したレポートを発表した。

2. 第1期まちづくり市民会議の提言の検証について

- ・事務局が、提言に対する行政側の実施状況、推進の程度について説明を行った。
- ・検証については、提言に対する行政の実施状況について評価を行うが、項目によっては評価をしない場合もある。
- ・提言に対する行政の取組みについて市長は知っているのか。また、市長は取組状況について市民に報告するべきではないのか。

- ・この提言は、第1期市民会議委員の2年間という時間が凝縮されており、大切に扱うべきである。
- ・第1期の提言は項目数が多い。第2期としては項目を絞るべきである。

3. その他

- ・次回の会議では、「環境（緑・水・エネルギー）」と「第1期まちづくり市民会議の提言の検証」を検討する。
- ・本日検討できなかった、歴史（産業遺産・文化遺産）についても検討する。
- ・（事務局より）まちづくり市民会議に関心のある市民より、次の2点について提案があったので、市民会議としての意見を聞きたい。
 - ①市民会議を公開（傍聴）することについての提案。
 - ②委員の欠員に対する再募集の提案。
- ・①について。公開の仕方には色々な方法があるが、現在行われている太田市ホームページへの議事録の公開をもって市民会議の公開とする。
- ・②について。現在再募集を行っても、新委員が実際に会議に参加ができるのは8月以降であり、その頃には提言もある程度の段階まで出来上がっていることが予想される。その時点で新委員に対してそれまでの議論の説明を行い、他の委員と同じレベルにすることは困難である。よって、委員の欠員の再募集は行わないこととする。

【次回の会議】

日時 6月16日（水）午後6時30分～ [6月17日（木）から変更]
場所 太田市役所10階 政策推進会議室